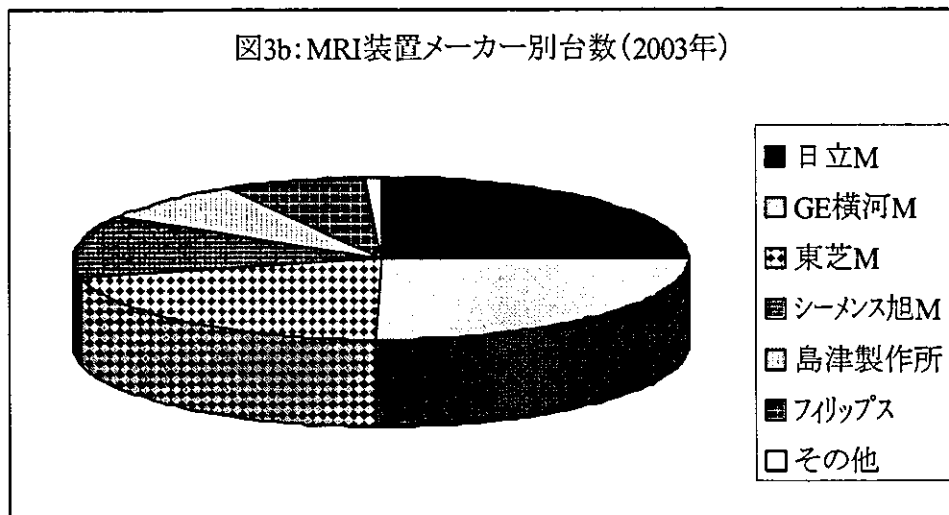


図3b: MRI装置メーカー別台数(2003年)



出所:月刊新医療『医療機器システム白書 2004』

#### 4. アンケート調査データによる回帰分析

前節で述べたような日本の状況において、CTスキャナー・MRI装置の購入価格を決定する要因として何があるか、そして、その要因のうち、計量経済学的に有意な変数は何かを、アンケート調査のデータによって解析した。推計方法は重回帰分析であり、推計結果は表-1～表-4 に示される。なお、表左列は説明変数すべてを取り入れた推計結果であり、表右列は左列の結果を踏まえ、選択的に説明変数を取り入れた推計結果である<sup>3</sup>。主要な分析結果は次のとおりである。

##### (1) CTスキャナー・MRI装置の本体購入価格について

表-1・表-2 は、CTスキャナー・MRI装置の本体購入価格を被説明変数とし、その説明変数と有意性を示したものである。全体としてみると、CTスキャナーに比べてMRI装置の説明変数で開設者別ダミー変数に大きな差のあることがわかる。開設者別ダミー変数(各開設者である場合に1とセット)は、「医療法人」医療機関をヌメレールとしているが、CTスキャナーについてみると、「国立」「公立」「公的」「医育機関」である医療機関が、「医療法人」医療機関よりも高く購入していることがわかる<sup>4</sup>。特に、「医育機関」である医療機関は、「医療法

<sup>3</sup> 本分析では、機器性能別や施設属性別での推計を行うことが望ましいが、サンプル数が十分ではないため、推計結果に示された変数のみを採用するに至った。

<sup>4</sup> 医療機関開設者区分は、施設調査区分に準じている。なお、「国立」「公立」「公的」区分は以下の通り。(1)国立(厚生省・独立行政法人国立病院機構・国立大学法人・独立行政法人労働者健康福祉機構・その他)、(2)公立(都道府県・市町村)、(3)公的(日赤・済生会・北海道社会事業協会・厚生連・国民健康保険団体連合会)。また、「医育機関」には「国立大学法人」と「学校法人」が含まれることに留意されたい。

人」医療機関より約1億円高い価格でCTスキャナーを購入している結果となった。これは、CTスキャナーについては、購入時に「医療法人」医療機関の価格意識が最も高いことを示している。

MRI装置についてみると、開設者別にみて有意となったのは、「医育機関」である医療機関のみで、この場合は、「医療法人」医療機関よりも約1億8,000万円高く購入している結果となった。しかし、その他の開設者については、どれも全く有意な結果を示していない。

今回の調査で計量分析可能となったデータ数は、CTスキャナーで40、MRI装置が37と少数であり、結果に偏りがある可能性は否定できない。しかし、1つの可能性としては、CTスキャナーとMRI装置の導入については、CTスキャナーの方が経済性の計算を厳しく行っており、どの開設者も価格を意識しているが、MRI装置については、先述したように経済性以外の要因が働き、開設者別の効果が明白にならなかったのかもしれない。

## (2) 機器導入における価格の重視度

アンケート調査では、最新の機器の導入に際して、価格を第一に重視しているか否かを尋ねている。これを「購入ポイント本体価格ダミー変数」として、推計結果をみると(最重視項目を「価格」と回答した場合に1とセット)、CTスキャナー・MRI装置共に、本体価格に対して、マイナスで有意な結果を得ている。価格を重視する医療機関は、CTスキャナーで約4,900万円、MRI装置で7,900万円安く購入している。これは、開設者の区別を別とすると、本体価格についてシビアな医療機関と、そうでない医療機関との間に差があることを示唆している。

## (3) MRI装置の本体価格に対する病床数・機器使用件数

MRI装置については、本体価格に対して、病床数がプラス、機器の1日あたり使用件数がマイナスの効果であることが示されている。病床数の効果は小さいが、比較的大きな施設であるほどMRI装置を高くても購入せざるを得ない状況があるのかもしれない。他方で、機器の1日あたり使用件数はMRI装置の採算性に大きく影響するので、使用件数の多い医療機関は、より積極的に価格交渉を行い、値引きをさせている可能性がある。しかし、これらの係数は開設者区分に比べれば、圧倒的に小さい結果となった。

## (4) CTスキャナー・MRI装置のリース料

CTスキャナー・MRI装置のリース料については、表-3・表-4に結果が示してある。CTスキャナー・MRI装置共に、リース契約により導入する際に「価格を最も重視する」医療機関は、それぞれ年間経費を引き下げていることが明らかとなった。さらに、「医療法人ダミー」変数

が、CT スキャナー・MRI 装置共にマイナスで有意な効果を持っていることがわかる。他方で、「機器の購入に際して最も強く意見の反映された者」が、「放射線科医師」や「診療放射線技師」といった専門家であるか否かの識別をさせる「専門医ダミー」については、共に符号が逆である。すなわち、CT スキャナーについては、マイナスで有意の効果を持っているが、MRI 装置では有意ではない。このことは、経済性がより意識される CT スキャナーについては、専門医の価格交渉力が働いていることを示唆するものようである。

#### (5) 定数について

推定された回帰式の定数の大きさについて注意しておこう。定数項は、その他の変数がすべてゼロであるときの、CT スキャナー・MRI 装置の価格水準(ベース価格)を示すものである。この値は、CT スキャナーが約 5,160 万円、MRI 装置が約 1 億 2,000 万円との結果となった。CT スキャナーと MRI 装置の両機器の購入価格差は大きい、今回の調査で利用できたサンプルについて、約 2.4 倍の差があることがわかる。これは両者の相対価格に対する一応の目安になるものと考えられる。

表 1:CT 購入に与える要因分析

被説明変数: 本体購入価格(百万円)		n=34		n=40	
説明変数	係数	t 値	係数	t 値	
定数	66.972	1.873 ***	51.579	2.497 ***	
ベッド数	-0.026	-0.287			
全使用件数(件/日)	-0.913	-1.335	-0.685	-1.258	
全従業者数(人/週)	-0.505	-0.831			
年間フルサポート契約ダミー	2.523	0.160			
導入決定者専門医ダミー※1	20.601	1.291	20.608	1.377	
導入ポイント本体価格ダミー	-41.878	-1.390	-48.836	-2.758 ***	
導入ポイント性能ダミー※2	-21.498	-0.853			
救命救急センターダミー	52.761	2.486 ***	39.077	2.164 **	
診療所ダミー	5.185	0.117			基準:
その他施設種別ダミー	0.649	0.017			病院ダミー
国立病院ダミー	59.156	1.459	65.877	1.843 *	基準:
公立病院ダミー	72.677	2.613	59.956	2.704 **	医療法人ダミー
公的社保ダミー	76.200	2.524 **	58.713	2.183 **	
その他開設主体ダミー	69.945	1.837 *	46.267	1.432	
医育機関ダミー	187.431	5.110 ***	100.628	3.837 ***	
左から R2, F 値	0.526	3.445	0.482	5.025	

R2 は調整済み決定係数

※1…機器導入に最も強く意見の反映された者が放射線科医師または放射線技師

※2…導入に際して最も重視した点 / \*\*\*:1%有意 \*\*:5%有意 \*:10%有意

表 2: MRI 購入に与える要因分析

被説明変数: 本体購入価格 (百万円)		n=37		n=37	
説明変数	係数	t 値	係数	t 値	
定数	126.639	3.391 ***	120.562	3.574 ***	
ベッド数	0.146	1.842 *	0.143	1.872 *	
全使用件数(件/日)	-1.560	-2.162 **	-1.496	-2.182 **	
全従業者数(人/週)	0.393	0.378			
年間フルサポート契約ダミー	-7.625	-0.377			
導入決定者専門医ダミー	28.243	1.281	27.002	1.328	
導入ポイント本体価格ダミー	-86.028	-2.229 **	-78.759	-2.277 **	
導入ポイント性能ダミー	-56.007	-1.700 *	-49.880	-1.685 *	
救命救急センターダミー	29.376	1.132	29.423	1.212	
国立病院ダミー	-11.658	-0.287	-5.560	-0.149	基準:
公立病院ダミー	18.274	0.549	20.216	0.634	医療法人ダミー
公的社保ダミー	-8.415	-0.220	-3.622	-0.105	
その他開設主体ダミー	40.370	0.940	39.419	0.959	
医育機関ダミー	178.770	4.076 ***	180.148	4.274 ***	
左から R2, F 値	0.593	5.029	0.621	6.358	

\*\*\*:1%有意 \*\* :5%有意 \* :10%有意

表 3:CT リース導入に与える要因分析

被説明変数:本体リース契約年間費用(百万円)		n=13		n=14	
説明変数	係数	t 値	係数	t 値	
定数	33.994	3.973 ***	33.750	8.828 ***	
全使用件数(件/日)	-0.001	-0.007			
全従業者数(人/週)	-0.027	-0.155			
導入決定者専門医ダミー	-6.604	-1.430	-7.000	-2.011 **	
導入ポイント本体価格ダミー	-14.426	-2.945 ***	-14.250	-3.847 ***	
医療法人ダミー	-18.988	-2.943 ***	-19.000	-5.670 ***	
左から R2, F 値	0.657	5.603	0.742	13.478	

\*\*\*:1%有意 \*\*:5%有意 \*:10%有意

表 4:MRI リース導入に与える要因分析

被説明変数:本体リース契約年間費用(百万円/年)		n=12		n=15	
説明変数	係数	t 値	係数	t 値	
定数	55.868	3.399 ***	63.594	4.385 ***	
ベッド数	-0.053	-1.828			
全使用件数(件/日)			-0.947	-1.878 *	
全従業者数(人/週)			-0.200	-0.795	
導入決定者専門医ダミー	6.012	0.781	2.382	0.350	
導入ポイント本体価格ダミー	-11.049	-1.600	-20.559	-2.450 **	
医療法人ダミー	-28.631	-3.648 ***	-28.757	-3.507 ***	
左から R2, F 値	0.595	5.040	0.390	2.788	

\*\*\*:1%有意 \*\*:5%有意 \*:10%有意

#### 参考文献

- 1) 月刊新医療 『医療機器システム白書 2004』 (株)エム・イー振興協会.
- 2) 佐藤裕治 「放射線科医に必要な医療経済学の知識[3]画像診断技術の経済的評価—分析手法—」(2000) 『臨床画像』vol.16-No.11, ジカルビュー社.
- 3) 久繁哲徳 「検査の経済的評価」(1997) 『最新医療経済学入門』P197-220, 医学通信社.
- 4) Sandler G (1980) "The importance of the history in the medical clinic and the cost of unnecessary tests." Am Heart J. 1980 Dec, 100(6 Pt 1): 928-31.

# 資料編

# 粗集計結果



## 画像診断機器

### CT スキャナー・MRI（磁気共鳴）装置

#### (1) 回答施設の概況

##### 問1 所在する地域ブロック（N=254）

1 北海道	9件	(3.5%)
2 東北（青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県）	20件	(7.9%)
3 関東Ⅰ（埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県）	42件	(16.5%)
4 関東Ⅱ（茨城県・栃木県・群馬県・山梨県・長野県）	16件	(6.3%)
5 北陸（新潟県・富山県・石川県・福井県）	9件	(3.5%)
6 東海（岐阜県・静岡県・愛知県・三重県）	29件	(11.4%)
7 近畿Ⅰ（京都府・大阪府・兵庫県）	32件	(12.6%)
8 近畿Ⅱ（滋賀県・奈良県・和歌山県）	10件	(3.9%)
9 中国（鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県）	17件	(6.7%)
10 四国（徳島県・香川県・愛媛県・高知県）	10件	(3.9%)
11 北九州（福岡県・佐賀県・長崎県・大分県）	28件	(11.0%)
12 南九州（熊本県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県）	26件	(10.2%)

##### 問2 開設主体（N=254）

1 国立（厚労省・国立病院機構・国立大学法人・その他）	30件	(11.8%)
2 公立（都道府県・市町村）	62件	(24.4%)
3 公的 ※1	18件	(7.1%)
4 社会保険関係団体 ※2	8件	(3.1%)
5 公益法人	13件	(5.1%)
6 医療法人	70件	(27.6%)
7 学校法人	5件	(2.0%)
8 会社	10件	(3.9%)
9 その他法人	8件	(3.1%)
10 個人	-	-
11 無回答	30件	(11.8%)

※1 日赤・済生会・北海道社会事業協会・厚生連・国民健康保険団体連合会

※2 全国社会保険協会連合会・厚生年金事業振興団・健康保険組合及びその連合会・共済組合及びその連合会・国民健康保険組合

##### 問3 医育機関（N=245）

1 はい	23件 (9.1%)	2 いいえ	222件 (87.4%)
------	------------	-------	--------------

問 4-1 施設種別・病院の内訳 (N=380)

施設種別	調査数
1 病院	183 件 (72.0%)
2 有床診療所	6 件 (2.4%)
3 無床診療所	55 件 (21.7%)
4 画像診断センター	9 件 (3.5%)
5 その他	9 件 (3.5%)
6 無回答	1 件 (0.4%)

問 4-2 病院許可病少数内訳 (N=137)

病床種別	調査数	平均
1 一般病床	172 件 (45.3%)	343.9
2 感染症病床	47 件 (12.4%)	4.7
3 結核病床	45 件 (11.8%)	18.5
4 療養病床	61 件 (16.1%)	52.8
5 精神病床	55 件 (14.5%)	69.8

問 5 標榜診療科数 (N=192)

平均	6.12
----	------

問 6 救急指定 (N=254)

区分	調査数
1 初期	15 件 (5.9%)
2 二次	97 件 (38.2%)
3 三次 (救命救急センター)	40 件 (15.7%)
4 指定なし	96 件 (37.8%)

問 7 医療用具・材料の購入選定組織の設置状況 (N=254)

承認状況	調査数
1 地域支援病院	25件 (9.8%)
2 地域拠点病院	46件 (18.1%)
3 特定機能病院	16件 (6.3%)
4 開放型病院	24件 (9.4%)
5 僻地医療拠点・中核・支援病院	9件 (3.5%)
6 1-5以外の承認	20件 (7.9%)
7 どれにも当てはまらない	107件 (42.1%)
8 無回答	27件 (10.6%)

問 8-1 外来診療時間 (N=211)

平均	35.5 時間/週
----	-----------

問 8-2 夜間・休日対応 (N=254)

1 あり 169件 (66.5%)	2 なし 69件 (27.2%)
-------------------	------------------

問 9 放射線科専門医の有無 (N=254)

1 常駐している	233件 (91.7%)
2 常駐していない	8件 (3.1%)
3 不在	3件 (1.2%)

問 10 保有機器の性能と購入時期 (N=254)

	CT シック*スライス	CT マルチスライス	MRI 永久磁石	MRI1.0 テスラ未満	MRI1.0 テスラ以上
1989年以前	7件	1件	1件	1件	3件
1990-1994年	30件	1件	1件	12件	21件
1995-1999年	104件	21件	3件	16件	60件
2000年	7件	10件	1件	1件	8件
2001年	5件	19件	2件	2件	18件
2002年	5件	23件	2件	-	15件
2003年	5件	36件	1件	3件	26件
2004年	1件	41件	1件	2件	16件
2005年	-	9件	-	-	7件

## (2) 医療機器の保有状況・稼働状況

問 11-1 稼働日数 (日/週) (CT : N=213, MRI : N=167)

CT	MRI
5.7	5.5

問 11-2 撮影総件数・特殊撮影件数 (件/日)

	CT・入院撮影 総件数	CT・外来撮影 総件数	CT・入院特殊 撮影総件数	CT・外来特殊 撮影総件数
平均件数	16.1 件	21.5 件	6.3 件	7.8 件
n	170	200	99	111
	MRI・入院撮影 総件数	MRI・外来撮影 総件数	MRI・入院特殊 撮影総件数	MRI・外来特殊 撮影総件数
平均件数	5.8 件	13.2 件	2.9 件	4.0 件
n	147	160	103	112

問 11-2 撮影総件数×問 2

	CT 稼働 日数/週	CT・入院 撮影総件数 (件/日)	CT・外来 撮影総件数 (件/日)	MRI 稼働 日数/週	MRI・入院 撮影総件数 (件/日)	MRI・外来 撮影総件数 (件/日)
1 国立	5.41	13.70	19.40	5.26	5.85	9.80
2 公立	5.66	22.14	46.46	5.17	13.67	30.83
3 公的	5.83	12.00	18.25	5.58	8.50	17.00
4 社会保険関係団体	5.56	7.67	21.67	5.56	5.67	6.67
5 公益法人	5.22	11.67	33.33	6.00	4.67	14.33
6 医療法人	5.78	14.20	21.00	5.88	4.00	9.40
7 学校法人	6.20	5.33	13.00	6.00	3.33	9.00
8 会社	5.71	4.50	10.50	5.29	2.50	14.00
9 その他法人	5.76	7.00	10.00	5.80	2.50	7.00
10 個人	-	-	-	-	-	-

問 11-2 特殊撮影件数×問 2

	CT・入院 特殊 撮影件数 (件/日)	CT・外来 特殊 撮影件数 (件/日)	MRI・入院 特殊撮影 件数 (件/日)	MRI・外来 特殊撮影 件数 (件/日)
1 国立	9.30	9.60	4.72	4.13
2 公立	19.27	28.96	6.67	6.17
3 公的	7.00	9.50	4.75	6.50
4 社会保険関係団体	2.33	2.67	1.67	2.00
5 公益法人	2.67	5.67	1.00	2.33
6 医療法人	3.20	2.80	2.20	3.80
7 学校法人	5.67	7.00	3.00	2.67
8 会社	1.00	1.50	1.00	2.00
9 その他法人	1.50	5.50	1.50	2.00
10 個人	-	-	-	-

問 11-2 特殊撮影件数×問 4

	CT 稼働 日数/週	MRI 稼働 日数/週	CT・入院 撮影総件 数 (件/日)	CT・外来 撮影総件 数 (件/日)	MRI・入院 撮影総件 数 (件/日)	MRI・外来 撮影総件 数 (件/日)	CT・入院 特殊撮影 件数 (件/日)	CT・外来 特殊撮影 件数 (件/日)	MRI・入院 特殊撮影 件数 (件/日)	MRI・外来 特殊撮影 件数 (件/日)
1 病院	5.73	5.46	16.30	24.74	5.92	13.54	6.43	8.71	2.91	3.95
2 有床 診療所	4.67	7.00	5.50	8.33	3.00	10.00	-	-	-	7.00
3 無床 診療所	5.58	5.55	-	6.84	-	9.45	-	2.39	-	4.75
4 画像 診断センター	5.92	5.75	-	12.00	-	7.60	-	5.00	-	4.75
5 その他	4.38	5.25	3.90	9.33	1.80	11.05	5.00	7.00	0.70	7.30

問 12 最も利用率の高い機器の使用対象 (N=254)

1 入院	19 件	(7.5%)
2 外来	168 件	(66.1%)
3 救急	1 件	(0.4%)
3 その他	25 件	(9.8%)

問 13 最も利用率の高い機器の 1 日平均使用時間

	CT	MRI
平均時間	7.3	8.1
n	200	161

問 14 従事者数 (人/週)

従事者	CT 常勤	CT 非常勤	MRI 常勤	MRI 非常勤
撮影・読影にかかわる放射線科医師	4.4	1.2	4.6	1.4
撮影・読影にかかわる他の診療科医師	2.1	0.7	2.2	0.6
撮影にかかわる診療放射線技師	5.9	0.8	5.3	0.9

問 14 常勤従事者数×問 2

	CT 常勤 放射線科医師 数 (人/週)	CT 常勤 他科医師数 (人/週)	CT 常勤診療 放射線技師数 (人/週)	MRI 常勤 放射線科医師 数 (人/週)	MRI 常勤 他科医師数 (人/週)	MRI 常勤診療 放射線技師数 (人/週)
1 国立	6.22	0.92	5.00	6.14	1.09	5.00
2 公立	5.04	2.61	6.92	5.04	1.81	5.58
3 公的	5.89	4.55	9.08	5.76	6.10	6.97
4 社会保険関係団体	4.00	2.00	4.71	4.00	6.25	4.86
5 公益法人	4.71	3.25	6.83	5.28	-	4.42
6 医療法人	2.91	2.16	4.99	2.42	2.00	4.89
7 学校法人	9.40	0.33	7.67	10.50	0.33	7.00
8 会社	3.00	-	4.50	2.50	-	3.83
9 その他法人	1.29	1.67	3.79	1.33	1.67	4.42
10 個人	-	-	-	-	-	-

問 14 非常勤従事者数×問 2

	CT 非常勤 放射線科医師 数 (人/週)	CT 非常勤 他科医師数 (人/週)	CT 非常勤診療 放射線技師数 (人/週)	MRI 非常勤 放射線科医師 数 (人/週)	MRI 非常勤 他科医師数 (人/週)	MRI 非常勤 診療放射線技 師数 (人/週)
1 国立	0.77	0.45	2.20	1.08	0.91	1.54
2 公立	1.11	0.13	0.31	0.98	0.14	0.44
3 公的	1.07	-	0.33	1.02	-	0.20
4 社会保険関係団体	0.33	-	1.67	0.33	-	1.67
5 公益法人	0.50	-	-	3.67	-	1.50
6 医療法人	2.07	2.07	0.81	2.19	1.29	1.38
7 学校法人	-	1.25	-	0.50	1.00	-
8 会社	2.25	-	-	2.25	-	-
9 その他法人	1.25	1.00	-	1.67	1.00	-
10 個人	-	-	-	-	-	-

問 14 非常勤従事者数×問 4

	CT 非常勤放射線 科医師数 (人/週)	CT 非常勤他科 医師数 (人/週)	CT 非常勤診療 放射線技師数 (人/週)	MRI 非常勤 放射線科医師数 (人/週)	MRI 非常勤他科 医師数 (人/週)	MRI 非常勤診療 放射線技師数 (人/週)
1 病院	4.72	2.23	6.19	4.78	2.23	5.25
2 有床診療所	2.67	-	0.50			
3 無床診療所	2.87	0.82	4.06	3.46	0.83	5.55
4 画像診断センター	3.33	-	3.92	3.80	2.50	7.42
5 その他	7.83	3.33	10.13	5.25	-	7.75

問 15 特殊機器の届出施設基準 (直近 3 か月)

平均患者数	特殊 CT	特殊 MRI
撮影全患者数	1177.3	847.1
共同利用目的・紹介患者数	149.6	279.1
転医目的・紹介患者数	56.5	110.4

問 15 特殊機器の届出施設基準（直近3か月）×問2

	特殊 CT 撮影 全患者数	特殊 CT 撮影 共同利用紹介 患者数	特殊 CT 撮影 転医目的 紹介患者数	特殊 MRI 撮影 全患者数	特殊 MRI 撮影・共同利用 紹介患者数	特殊 MRI 撮影 転医目的 紹介患者数
1 国立	185.67	16.75	-	203.89	45.11	0.67
2 公立	1911.58	84.16	1.64	824.58	118.23	2.41
3 公的	1000.71	71.57	-	865.63	94.78	5.33
4 社会保険関係団体	570.20	97.20	29.00	547.33	103.83	0.75
5 公益法人	415.71	48.00	-	66.67	33.33	-
6 医療法人	1748.88	422.44	229.58	1617.63	987.60	462.75
7 学校法人	-	-	-	-	-	-
8 会社	2028.00	148.25	-	862.50	196.75	-
9 その他法人	478.33	149.00	9.00	453.67	-	60.00
10 個人	-	-	-	-	-	-



(3) 医療機器の導入形態

問 16 最新導入機器の導入形態 (n=254)

	CT	MRI
卸業者・販売代理店から購入	146 (57.5%)	119 (46.9%)
リース契約	61 (24.0%)	43 (16.9%)
その他	3 (1.2%)	2 (0.8%)

問 16 最新導入機器の導入形態 (CT) ×問 2

	卸業者・販売代理店から購入	リース契約	その他
1 国立	27 (96.4%)	1 (3.6%)	-
2 公立	52 (91.2%)	5 (8.8%)	-
3 公的	16 (88.9%)	2 (11.1%)	-
4 社会保険関係団体	6 (75.0%)	1 (12.5%)	1 (12.5%)
5 公益法人	6 (60.0%)	2 (20.0%)	2 (20.0%)
6 医療法人	22 (38.6%)	35 (61.4%)	-
7 学校法人	2 (66.7%)	1 (33.3%)	-
8 会社	3 (42.9%)	4 (57.1%)	-
9 その他法人	4 (57.1%)	3 (42.9%)	-
10 個人	-	-	-

問 16 最新導入機器の導入形態 (MRI) ×問 2

	卸業者・販売代理店から購入	リース契約	その他
1 国立	27 (100%)	-	-
2 公立	46 (88.5%)	6(11.5%)	-
3 公的	12 (70.6%)	5 (29.4%)	-
4 社会保険関係団体	6 (75.0%)	1 (12.5%)	1 (12.5%)
5 公益法人	5 (83.3%)	-	1 (16.7%)
6 医療法人	10 (28.6%)	25 (71.4%)	-
7 学校法人	1 (50.0%)	1 (50.0%)	-
8 会社	4 (57.1%)	3 (42.9%)	-
9 その他法人	5 (83.3%)	1 (16.7%)	-
10 個人	-	-	-

問 16 最新導入機器の導入形態 (CT) ×問 4

	卸業者・販売代理店から購入	リース契約	その他
1 病院	127 (73.8%)	43 (25.0%)	2 (1.2%)
2 有床診療所	2 (100%)	-	-
3 無床診療所	17 (53.1%)	15 (46.9%)	-
4 画像診断センター	1 (16.7%)	5 (83.3%)	-
5 その他	2 (40.0%)	2 (40.0%)	1 (20.0%)

問 16 最新導入機器の導入形態 (MRI) ×問 4

	卸業者・販売代理店から購入	リース契約	その他
1 病院	114 (75.0%)	36 (23.7%)	2 (1.3%)
2 有床診療所	-	-	-
3 無床診療所	6 (54.5%)	5 (45.5%)	-
4 画像診断センター	1 (16.7%)	5 (83.3%)	-
5 その他	1 (50.0%)	1 (50.0%)	-

問 17 最新導入機器の導入に際して最も強い理由

	CT	MRI
既存の一部の機器が古くなった・償却期限がきたから入替え	118 (58.4%)	83 (53.6%)
操作面・性能面・経済面で効率性のいい機器が登場したから入替え	20 (9.9%)	9 (5.8%)
リース契約が更新時期を迎えたから入替え	3 (1.5%)	1 (0.7%)
経営上の理由により新規に導入	14 (6.9%)	9 (5.8%)
臨床上の必要性により新規に導入	40 (19.8%)	47 (30.3%)

問 18 最新導入機器の機種選定に際して最も意見の強く反映された部局 (n=254)

	院長 理事長	放射線科 医師	他科 医師	放射線 技師	理事会	購買 部門	購買 委員会	その他 部門
CT	56 (22.0%)	74 (29.1%)	1 (0.4%)	29 (11.4%)	8 (3.1%)	3 (1.2%)	16 (6.3%)	18 (7.1%)
MRI	41 (16.1%)	61 (24.0%)	1 (0.4%)	20 (7.9%)	8 (3.1%)	1 (0.4%)	17 (6.7%)	13 (5.1%)

問 18 最新 CT 導入の機種選定に際して最も意見の強く反映された部局×問 2

	院長 理事長	放射線科 医師	他科 医師	放射線 技師	理事会	購買 部門	購買 委員会	その他 部門
1 国立	2 (7.4%)	13 (48.1%)	1 (3.7%)	5 (18.5%)	-	-	3 (11.1%)	3 (11.1%)
2 公立	5 (9.1%)	18 (32.7%)	-	13 (23.6%)	2 (3.6%)	2 (3.6%)	7 (12.7%)	8 (14.5%)
3 公的	2 (11.1%)	7 (38.9%)	-	2 (11.1%)	2 (11.1%)	-	3 (16.7%)	2 (11.1%)
4 社保関係団体	3 (37.5%)	2 (25.0%)	-	2 (25.0%)	-	-	-	1 (12.5%)
5 公益法人	2 (22.2%)	6 (66.7%)	-	-	-	-	-	1 (11.1%)
6 医療法人	30 (53.6%)	12 (21.4%)	-	6 (10.7%)	3 (5.4%)	1 (1.8%)	2 (3.6%)	2 (3.6%)
7 学校法人	1 (20.0%)	3 (60.0%)	-	-	-	-	-	1 (20.0%)
8 会社	1 (14.3%)	5 (71.4%)	-	1 (14.3%)	-	-	-	-
9 その他法人	2 (28.6%)	4 (57.1%)	-	-	1 (14.3%)	-	-	-
10 個人	-	-	-	-	-	-	-	-

問 18 最新 MRI 導入の機種選定に際して最も意見の強く反映された部局×問 2

	院長 理事長	放射線科 医師	他科 医師	放射線 技師	理事会	購買 部門	購買 委員会	その他 部門
1 国立	4 (14.8)	14 (51.9)	1 (3.7)	3 (11.1)	-	-	2 (7.4)	3 (11.1)
2 公立	4 (8.2)	17 (34.7)	-	10 (20.4)	2 (4.1)	1 (2.0)	8 (16.3)	7 (14.3)
3 公的	3 (17.6)	7 (41.2)	-	1 (5.9)	1 (5.9)	-	4 (23.5)	1 (5.9)
4 社保関係団体	4 (50.0)	4 (50.0)	-	-	-	-	-	-
5 公益法人	1 (16.7)	4 (66.7)	-	-	-	-	-	1 (16.7)
6 医療法人	18 (52.9)	5 (14.7)	-	4 (11.8)	4 (11.8)	-	2 (5.9)	1 (2.9)
7 学校法人	1 (25.0)	3 (75.0)	-	-	-	-	-	-
8 会社	2 (28.6)	3 (42.9)	-	2 (28.6)	-	-	-	-
9 その他法人	1 (16.7)	4 (66.7)	-	-	1 (16.7)	-	-	-
10 個人	-	-	-	-	-	-	-	-

問 18 最新 CT 導入の機種選定に際して最も意見の強く反映された部局×問 4

	院長 理事長	放射線科 医師	他科 医師	放射線 技師	理事会	購買 部門	購買 委員会	その他 部門
1 病院	34 (20.0%)	64 (37.6%)	1 (0.6%)	29 (17.1%)	7 (4.1%)	3 (1.8%)	15 (8.8%)	17 (10.0%)
2 有床診療所	2 (66.7%)	-	-	-	-	-	-	1 (33.3%)
3 無床診療所	18 (60.0%)	7 (23.3%)	-	1 (3.3%)	2 (6.7%)	-	1 (3.3%)	1 (3.3%)
4 画像診断センター	2 (33.3%)	3 (50.0%)	-	-	-	-	1 (16.7%)	-
5 その他	1 (25.0%)	3 (75.0%)	-	-	-	-	-	-

問 18 最新 MRI 導入の機種選定に際して最も意見の強く反映された部局×問 4

	院長 理事長	放射線科 医師	他科 医師	放射線 技師	理事会	購買 部門	購買 委員会	その他 部門
1 病院	33 (22.0%)	59 (39.3%)	1 (0.7%)	20 (13.3%)	7 (4.7%)	1 (0.7%)	16 (10.7%)	13 (8.7%)
2 有床診療所	1 (100%)	-	-	-	-	-	-	-
3 無床診療所	6 (54.5%)	2 (18.2%)	-	-	2 (18.2%)	-	1 (9.1%)	-
4 画像診断センター	4 (66.7%)	1 (16.7%)	-	-	-	-	1 (16.7%)	-
5 その他	1 (50.0%)	1 (50.0%)	-	-	-	-	-	-